

冬山安全登山講習会 in 西穂高

2018年 2月10日(土)～12日(月)

< 講習内容 >

冬山で行動するための基本的な技術と、もしものときにどのように対応すべきかを学びます。

【実技】

アイゼン歩行時の注意・ラッセルの仕方・ピッケルの使い方(滑落停止他)・雪洞の掘り方・ビーコンの使い方・プローブ(ゾンデ棒)の使い方 等

【座学】

冬山の気象講習・雪崩講習・冬山の危険について・遭難時の対応・遭難事故事例

※ **本講習会は安全に行動する技術を学ぶために行うものであり、登山を目的とするものではありません。** 実技を行う場所は天候等によって当日決定しますが、山荘周辺及び丸山もしくはお花畑付近までを予定しています。**独標まで登ることは致しません**し、講習開始後に個人的に登ることもできません。

※ ただし、山荘現地集合の方が初日の集合時間前に登るのは、各自の責任において行っていただくものとします。

※ 日を改めて独標・山頂へ登りたいという方には、ガイドさんを紹介いたします。

< 受講対象 >

基本的な冬山装備をお持ちの方で、冬山で行動するための基本的な技術と危急時の対応を学びたい方。

< 定員 >

30名

< 講習料金 >

3日間で 11,500円

< 宿泊料金 >

2泊5食付特別料金 17,000円

懇親会費 1,500円×2日 = 3,000円

< 保険料 >

傷害保険に加入していただきます 1,500円

(講習日前に、当方で加入手続きを致します)

※ 費用は総額で税込み33,000円。当日現地にてお支払いいただきます。

※ 保険加入の都合がありますので、やむをえずキャンセルされる場合は、3日前までにご連絡をお願い致します。

< 持ち物 >

● 基本的な冬山装備

→ 冬用登山靴・アイゼン(10本爪以上)・ピッケル・ワカンまたはスノーシュー・ストック・ロングスパッツ・ゴーグル・サングラス・冬用帽子・目出帽・手袋(オーバーグローブ・インナーグローブ・薄手のインナー手袋・予備の手袋がそれぞれ必要になります)・冬用アウターウェア(カッパ不可)・防寒着 等

● 筆記用具・ザック・ヘッドランプ・着替え・行動食・保温水筒 等

※ ヘルメットをお持ちの方はご持参ください。

※ ビーコン・スコップ・プローブ等は当方で用意いたしますが、ご自身のものをお持ちの方はご持参ください。

< 行程 >

(一日目)

※ 集合場所は西穂山荘現地集合、または新穂高ロープウェイ西穂高口駅集合のどちらかをお選びいただけます。山荘まで自力で来る自信のない方は、ロープウェイを下りたところから講師が同行して登ります。

13:45 新穂高ロープウェイ 西穂高口駅集合

(レベルに合わせて班分けし、簡単な講習を交えながら山荘まで一緒に登ります)

16:00 西穂山荘 現地集合 (なるべく受付を先にお済ませください)

16:30 ~ 17:30 **屋外講習**
17:30 ~ 18:30 **室内講習**
18:40 ~ 20:40 夕食 及び **懇親会・講話**

(二日目)

6:50 朝食
7:30 ~ 12:00 **午前の部 講習**
12:00 ~ 13:00 昼食
13:00 ~ 18:00 **午後の部 講習**
18:50 ~ 20:30 夕食 及び **懇親会**

(三日目)

6:50 朝食
7:30 ~ 11:00 **屋外講習**
11:00 山荘現地にて解散

※ 講習内容は天候等により臨機応変に決定し、最善のものを提供できるように致します。
このため、行程につきましても当日の天気等によって変更しますので、予めご了承ください。

< 申込み方法 >

- **申込みの受付は12月27日(水)より**行います。
- 下記の必要事項を記載し、メールまたはFAXでお申し込みください。

【 Mail 】 **tenkikyousitu@gmail.com**

【 Fax 】 **0263-32-3211**

※ **お申し込み後3日以内に返信のメールまたはFAXをお送りします。ただし、年末年始(12/30~1/3)に申し込まれた方は返信が1/4以降になります。届かない場合は、松本事務所までお電話ください。**

また、各種お問い合わせや変更のご連絡につきましても、こちらで承ります。

【 お問い合わせ先 】 **松本事務所 0263-36-7052**

- **申込み締め切りは2月5日(月)です。定員に達した場合はその時点で受付終了**とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

「冬山安全登山講習会 in 西穂高 申込書」必要記載事項

氏名：

フリガナ：

性別：

生年月日：

年齢：

郵便番号：

住所：

電話番号：

携帯電話番号：

メールアドレス(メールで申し込まれる方のみ記載)：

FAX番号(FAXで申し込まれる方のみ記載)：

初日の集合場所（以下のどちらかを選択してください）

A. 新穂高ロープウェイ 西穂高口駅 集合

B. 西穂山荘 現地集合

< 緊急時連絡先 >

氏名：

電話番号：

続柄：

冬山の経験：

その他連絡事項があればお書きください

- ※ お申し込み時にご記入いただいた個人情報、傷害保険加入および当講習以外の目的で使用は致しません。
- ※ 悪天候によりロープウェイの運休等が予想される場合は、やむなく中止とさせていただきます。中止の際は二日前(2月8日)18時までに申し込まれた方法に応じて(メールで申し込まれた方はメールにて、FAXで申し込まれた方はFAXにて)ご連絡致します。
- ※ 当日、急な連絡がある場合は西穂山荘現地電話(0263-95-2506)または現地携帯電話(080-6996-2455)までご連絡ください。

< 講習会を行う目的 >

近年、冬山に登られる方が大変増えています。登山者の増加にともない、冬の遭難事故の数も増加の一途をたどっています。西穂高でも昨冬に多数の事故が発生していますが、非常に気掛かりなことがあります。それは冬山の基本的な知識や基礎的な技術を身につけていないと思われる事故が多発していることです。

例えば雪庇の踏み抜き事故についてですが、西穂高では以前はこのような事故はほとんど見られませんでした。それが近年は毎年複数回発生するようになっていきます。

西穂高では北西の季節風によって稜線の長野県側に雪庇が張り出しますが、さほど大きなものはできません。気流が複雑に巻いているいろいろな方向に張り出す場所もないため、雪庇に関する基本的な知識を身につけている方が踏み抜くことはまずありません。

踏み抜き事故の現場を見ると、雪庇ができて当然の場所ばかりで、驚きを感じます。また、運よく踏み抜いてはいなくても、雪庇上の危険な場所に足跡を見つけることも日常茶飯事です。

また、ピッケル等の冬の道具についても、本当に用途に合った使い方をマスターしている方がどのくらいいるのかも疑問に思います。例えば滑落停止の訓練をきちんと行い、技術をマスターしている方の割合はどのくらいでしょう。杖の代わり程度にしか使えない方もかなり多いように見受けられます。近年、ピッケルを持たずにストックだけで積雪期の独標に登る人もおり、見ていて恐ろしくなります。

このように自分では気づいていなくても、実は基本的な知識や技術が欠落しているという方が大変増えているように思います。

冬山は他の季節に比べると、より高い技術・深い知識・豊富な経験・十分な体力といったものが求められます。以前は冬山に登るようなレベルの人は山岳会等に入っている方が多く、先輩から様々なことを学ぶ機会がありました。

しかし、昨今は山岳会等には加入せずに冬山に登る方が大変多くなっているため、本来学ぶべきことを学べないまま登っている方が急増しているのが現状かと思えます。

昨冬は救助に出動する場面も何度かありましたが、出動中に別の事故発生の知らせが入り、一日に3件ということもありました。このような状況がより拡大していくことを大変心配しています。

この状況を少しでも良い方向にもっていく試みの一つとして、この講習会を企画しました。

冬山で行動するための基本的な技術と危急時の対応を学びたいけれども、学ぶ機会がなかった、という方たちのための講習会です。

幸い西穂山荘という冬山講習の拠点となる場所を有しており、また講習を行うのに適した場所が周囲にたくさんありますので、これらを利用して中身の濃い講習会を行いたいと思っています。

費用負担も極力抑えて、より多くの方が参加しやすいように配慮しています。参加される皆様からいただく講習料は、すべて講習会開催のための実費及び講習のために使用する備品調達のために使わせていただきます。

(備品はとてこれだけでは足りませんので、各所に協力をお願いし、準備する予定です)

講師陣は冬山及び救助技術に大変優れた陣容が揃っています。講習内容の充実度はもちろんですが、おそらく懇親会等でも滅多に聞くことのできない話を聞くことができ、大変貴重な体験をしていただけるのではないかと思います。

このような機会を探しておられた方も多いのではないのでしょうか。ぜひ多くの方にご参加いただき、冬山をより安全に楽しめる知識と技術を身につけていただきたいと思います。

また、本講習会で学んだことを周りの方にも広めていただくことにより、安全に対する意識の高まりが伝播していけば、これほど素晴らしいことはありません。